



増水して荒れる利根川

わが家の風水害対策

台風や大雨、強風。あなたの家の風水害対策は万全ですか。家の中や周囲をしっかりとチェックしてみましょう。

屋根

●瓦のひび・ずれ・はがれはないか。

ベランダ

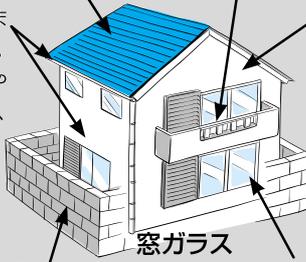
●鉢植えや物干しざおなど飛散の危険が高い物は室内へ。

雨どい・雨戸

●雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか。継ぎ目の外れや塗装のはがれ、腐りはないか。

外壁

●モルタルの壁に亀裂はないか。
●板壁に腐りや浮きはないか。
●プロパンガスのボンベは固定されているか。



窓ガラス

●ひび割れ、窓枠のがたつきはないか。また、強風による飛来物などに備えて外側から板でふさぐなどの処置を。

ブロック塀

●ひび割れや破損箇所はないか。

雨量と降り方	
1時間の雨量	雨の降り方
8~15	雨の音が聞こえる。
15~20	地面一面水たまり。雨音で話し声がよく聞こえない。
20~30	土砂降り。側溝がたちまちあふれる。
30~50	バケツをひっくり返したよう。場合により避難の準備を始める。
50以上	滝のように降る。土石流が起こりやすい。
風速と被害	
風速	被害
風速10m/秒	傘がさせない。
風速15m/秒	看板やトタン板が飛び始める。
風速20m/秒	小枝が折れる。
風速25m/秒	瓦が飛び、街路樹が倒れる。
風速30m/秒	雨戸が外れ、家が倒れることもある。

台風に備えた心構えと準備

台風や豪雨は、予測できるからと安易に考えてはいけません。大雨や強風は、わたしたちに何れも大きな災害をもたらします。油断せず日ごろから十分な対策を立てておきましょう。

日ごろからの心構えと準備

家の近くの危険場所と避難場所を確認。いざというとき対応できるよう、非常食や携帯ラジオなどを準備しましょう。

台風が近づいたら

瓦や窓などを点検し、特に商店では看板が風で飛ばされないように固定しましょう。また、浸水の恐れがあるときは、家財道具や生活用品を高い所へ移し

ましょう。

避難するとき

一人での行動は避け、家族や地域の人と協力し合って避難します。お年寄りや体の不自由な人、病人などのいる家庭は、特に早めに避難しましょう。避難勧告を受けた場合は、危険を感じなくても速やかな避難が必要です。また勧告がなくても、危険と判断したら自主的に避難しましょう。

避難するときは、電気やガスなど火の元の始末、戸締まりを確実に。また、行動しやすい服装で丈夫な運動靴、手袋なども持ちましょう。

いざというときのために非常持ち出し品を準備。



気象情報を正しく理解しよう

台風や豪雨は、ある程度予測が可能です。強い雨が降り始めたときは、テレビやラジオの気象情報に注意しましょう。また、気象情報で使われる言葉を正しく理解し、慌てずに予防対策を立てましょう。また、テレビやラジオのほかインターネットのホームページでも雨量情報などが確認できます。主なホームページは右表のとおりです。

気象情報などを紹介している主なホームページ	
県土木部砂防課	http://www.pref.gunma.jp/h/06/d-saigai/hp/main_page_01.htm
防災情報提供センター	http://www.bosaijoho.go.jp
国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所	http://www.ktr.ml.it.go.jp/tonesui/
前橋地方気象台	http://www.tokyo-jma.go.jp/home/maebashi/